

## JMOOC 講座

### 1. 概要

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、広報効果として、その性質から国内のみならずグローバルに本学の知名度を高めることが期待できる。

本学は 2014 年度より日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）に参加し、毎年 1～2 講座を開講してきている。2018 年度も 1 講座を JMOOC 公認プラットフォーム「gacco」にて開講した。

### 2. 利用状況

#### (1). 開講講座情報

講座名：勝利の方程式～スポーツと栄養～

講師：コミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科 教授 杉浦克己

講座アシスタント：スポーツウェルネス学科生 3 名を配置

開講予定期間：2018 年 12 月 4 日（火）から 4 週にわたり開講

反転授業：2018 年 12 月 15 日（土）15-17 時 池袋キャンパスにて開催

受講登録者数：2,796 名

受講修了者数：489 名



図 1：JMOOC 講座コースカード



図 2：JMOOC プロモーション動画イメージ

(2). アンケート集計

JMOOC プラットフォームを運営している(株)ドコモ gacco から提出された「受講状況等各種集計結果と受講者からのアンケート結果についての分析報告書」より一部抜粋する。

① 受講状況

	受講者数	ディスカッションスレッド数	修了率
勝利の方程式 スポーツと栄養	2,961	25	17%
gacco講座平均 (昨年度平均)	3,011	32	14%

表 1 : JMOOC 受講者数、修了率

② 性別、年代別受講状況

	男性							男性 集計	女性							女性 集計	その他
	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上		10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上		
受講登録数	15	152	204	318	345	283	153	1470	15	136	209	286	227	89	20	982	509
受講登録 構成比	0.5%	5.1%	6.9%	10.7%	11.7%	9.6%	5.2%	49.6%	0.5%	4.6%	7.1%	9.7%	7.7%	3.0%	0.7%	33.2%	17.2%
他講座平均	0.7%	6.8%	10.7%	15.0%	12.1%	8.3%	4.3%	58.0%	0.5%	4.4%	5.9%	6.6%	4.8%	1.5%	0.5%	24.2%	17.9%

表 2 : JMOOC 性別、年代別受講状況

③ 受講登録推移



図 3 : JMOOC 受講登録推移

④ アンケート結果

職種 (受講前)			講座の満足度 (受講後)		
No. カテゴリ	実数	構成比	No. カテゴリ	実数	構成比
1 01. フルタイムで働いている	691	57.7%	1 01. 大変満足	144	56.3%
2 02. パートタイム、アルバイト	156	13.0%	2 02. まあ満足	106	41.4%
3 03. 専業主婦 (夫)	85	7.1%	3 03. やや不満	6	2.3%
4 04. 無職	178	14.9%	4 04. 不満	0	0.0%
5 05. 小学生	3	0.3%	回答数合計	256	100.0%
6 06. 中学生	4	0.3%			
7 07. 高校生	11	0.9%			
8 08. 短大生・高専生・専門学校生	6	0.5%			
9 09. 大学生	44	3.7%			
10 10. 大学院生 (修士課程)	4	0.3%			
11 11. 大学院生 (博士課程)	5	0.4%			
12 12. 上記以外の学生	10	0.8%			
回答数合計	1197	100.0%			

表 3 : JMOOC アンケート結果

### 3. 2018年度のまとめ

本学では6講座目のJM00C出展であり、2018年7月より講座準備を始め、8月下旬にPVおよび講座の撮影、10～11月にかけて課題の設定などを終え、予定通り2018年12月4日に開講を迎えた。また、講義半ばの2018年12月15日には池袋キャンパスで対面授業を行い、参加者は15名弱であったものの、各週の内容を補足説明する形で2時間弱の講義が行われた後には、対面授業ならではの活発な質疑応答があった。

受講者アンケートの結果、性別・年代別集計では、各年代に渡って女性の受講者の割合が多かったこと、また60代以上の男性受講者が多かったことから、「スポーツ」「栄養学」「健康」といった横断的なテーマ設定が受講者の各ニーズに結びついたと考えられる。

受講後アンケートには「スポーツをするうえでの栄養の重要性がわかり、大変参考になった」というコメントや、健康維持や介護予防のため、またお子さんがスポーツをやっている子育て世代からのコメントが多く寄せられ、続編を求める声もあった。一方、JM00Cの講座では10～15分単位で1つの映像コンテンツにまとめることが多いが、当講座では1コンテンツが30分程度になってしまったところもあり、「動画が長かった」とのご意見もいただいた。通常15回にわたる大学の講義を4週分の講座コンテンツに落とし込むには、内容の精査と見せ方に工夫が必要という今後の教訓となった。

日本オープンオンライン教育推進協議会（JM00C）全体の動きとしては、大学からの講座出展がJM00Cオープン当初の勢いに比べると徐々に減っている状況を鑑み、2017年度から新規講座のコンテンツ作成、2018年度からは再開講にも若干の助成金が出るようになった。本学としては、引き続き、年度1本のペースで新規講座の作成に取り組んでいきたい。